

目次

はしがき

第1章 ナシヨナリズム——国民と国家はどうなるのか

山室信一

- 1 忍び寄る「憲法改正」後の日常……………2
- 2 「立憲独裁」国家への転換……………10
- 3 国権の最高機関としての総理大臣……………16
- 4 立憲独裁による「臣民国家」への道……………20

オピニオン

自民党改憲案の「歴史的意義」について——内田 樹 26

第2章 戦 争——どこが戦場になるのか

藤原辰史

- 1 はじめに……………32

- 2 第一段階 遠い「戦争」……34
- 3 第二段階 隠される「戦争」……41
- 4 第三段階 唐突な「戦争」……47

コラム 解釈改憲——石崎 学 51

第3章 表現・思想・信仰——人間の「精神的自由」とは何か

中村 一成

- 1 改憲草案 異論、反論、猜疑の否定……54
- 2 「公の秩序」という「魔法の杖」……60
- 3 少数者の「口封じ」で始まった「戦後」……67
- 4 根こそぎにされていく「精神的自由」……76

コラム 権利と義務——武村二三夫 80

第4章 教育——幸福追求権としての教育はどうなるのか

西垣 順子

- 1 自民党改憲草案の話をする前に 法律の条文・言葉がなぜ問題なのか……84
- 2 日本国憲法ができてから……86

- 3 自由民主党改憲草案における教育……96
- 4 まとめ 自民党改憲草案が「憲法」になってしまったら……104

コラム

労働——岩佐卓也 108

第5章 家族——誰かとながりたい個人はどこへ向かうのか

弘川欣絵

- 1 はじめに 家族とはなんだろう……114
- 2 現行の憲法二四条はどのようなものか……115
- 3 2012年自民党改憲草案……122
- 4 改憲されたらどうなるか……124
- 5 おわりに……138

オピニオン

カヤマさん、違憲の人々となる——香山リカ 140

第6章 貧困——社会はどのように分断されていくのか

西澤晃彦

- 1 社会的事実としての立憲主義……146
- 2 貧者を射る議員たち 妥協する立憲主義……150

- 3 新自由主義者たち……………155
- 4 家族があやしい……………160
- 5 貧困を利用する……………168

コラム 刑事手続——金 尚均 174

第7章 国 政——独裁政治になってもいいのか

- 1 地方版「市民と野党の共闘」が輝いた時代……………180
- 2 自民党改憲案がめざすこの国の形……………184
- 3 戦後社会の本格的な破壊の道へ……………197
- 4 新しい政権をめざす「市民と野党の共闘」へ……………203

コラム 社会運動——大野 至・塩田 潤 207

おわりに

資料 自民党日本国憲法改正草案

石川康宏